

項目	基準	主な不適の原因	身体に対する影響等	対策
一般細菌	100/ミリリットル以下	し尿、下水、汚水等による汚染の可能性があります。	一般細菌の全てが必ずしも病原性を有するものではありませんが、注意が必要です。	煮沸消毒、塩素滅菌装置の取付け
大腸菌群	検出されないこと	し尿、下水、汚水等による汚染の可能性があります。	経口感染症等消化器系病原菌による疾病など汚染の指標となり得る	煮沸消毒、塩素滅菌装置の取付け
亜硝酸態窒素		地質による影響と流出した肥料成分、し尿、下水等による汚染が過去においてはなほだしかったことを示す	乳児(六ヶ月未満)が高濃度の水を摂取するとメヘモグロビン血症をおこし、呼吸作用を阻害する	水源の転換、飲料用以外で使用
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	地質による影響と流出した肥料成分、し尿、下水等による汚染が過去においてはなほだしかったことを示す	乳児(六ヶ月未満)が高濃度の水を摂取するとメヘモグロビン血症をおこし、呼吸作用を阻害する	水源の転換、飲料用以外で使用
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	地質による影響と、配管等の腐食、工場排水の混入による汚染の疑いをしめす	衛生上の有毒性よりも洗濯のとき衣類を赤くする、お茶の味を悪くする、という観点から基準値を定めてい	除鉄装置の取付け、浄水器の取付け
塩素イオン	200mg/l以下	海水の浸入、し尿、下水、排水等の混入を疑わせる。自然水にもいくらか含まれ地域差がある。特に多量に含まれる場合あるいは急激に増加する場合は汚染の指標となる	塩味を感じる値から基準値が設定されているが、水中の濃度より食生活を含めた全摂取量が問題となる	原因の追求、除去。浄水器の取付け、ろ過器の取付け
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	地質による影響と海水、工場排水、下水等の混入の疑いを示す。水道ではモルタルライニング管やコンクリート構造物、あるいは水の石灰処理によって増加することもある	高濃度で胃腸障害を起こす場合もある。硬度の高い水は石けんの泡立ちが悪く、日常生活に影響が大きい。ボイラー水に不適。適度の硬度(10~100mg/l)の水は飲料水として美味である	原因の追求、除去。浄水器の取付け、ろ過器の取付け
PH値	5.8~8.6	し尿、下水、工場排水等の混入の疑いを示す。地下水(深井戸)は低い(酸性)ことが多い	水の中性、アルカリ性、酸性を示す。飲料水としては中性(pH値7)付近にあることが望ましい。酸性の水は水道施設を腐食する	
有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	10mg/l以下	し尿、下水、工場排水等有機物質を多量に含む水の混入、もしくは汚染プランクトン類の繁殖の疑いを示す	汚染された水ほど高い値になる。水質を判断する上で重要な指標	浄水器によるろ過
味	異常でないこと	し尿、下水、工場排水、薬品の混入、地質の影響を示す	異常な味は飲料水として適さない。また汚染の指標となり得る	原因の追求、除去。浄水器の取付け、ろ過器の取付け
臭気	異常でないこと	し尿、下水、工場排水、薬品の混入、地質の影響を示す	異常な臭気は飲料水として適さない。また汚染の指標となり得る	原因の追求、除去。浄水器の取付け、ろ過器の取付け
色度	5度以下	下水、汚水の混入や鉄、マンガン、微生物の繁殖影響を示す	清澄な水は無色透明	浄水器によるろ過
濁度	2度以下	下水、汚水、土砂、薬品等の混入や管内塗装亜鉛メッキの溶出、浄水給配水施設の欠陥の疑いを示す	清澄な水は無色透明	浄水器によるろ過

(金沢市公式ホームページ等より)